

令和8年度 第2回 政策調整会議 会議録

◆開催日時：令和8年7月8日（水） 9：58～10：16

◆開催場所：第2委員会室

◆出席委員：藤浪副市長、岸副市長、谷教育長、高井総合政策部長、谷口総務部長、新内財務部長、池内生涯学習部長

◆説明者：仲村スポーツ振興課長、吉川管理担当主幹、水谷主査

◆審議事項

岸和田市立社会体育施設再編第2期実施計画 -テニスコート編- の策定について

・・・・・・・・・・・・・・・・・・スポーツ振興課⇒承認

◆審議概要

◎付議依頼書等に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈藤浪副市長〉5面あるテニスコートを3面に集約することで、需要はまかなえるのか。

〈管理担当主幹〉現在の利用状況を調べたところ、5面を2面にすることで需要は満せる内容となっているが、それでは現状維持というだけになるので、需要の高い夜間照明付き1面を追加して、計画では2面ではなく3面とした。

〈藤浪副市長〉休日の日中は稼働率も高いかと思うが、ピーク時でも調整をすれば問題ないということか。

〈スポーツ振興課長〉土・日・祝日の稼働率は高くても60～80%程度である。それに対して平日は20～30%程度で、総合的に考えると2面でも大丈夫な想定である。

〈岸副市長〉土地利用の制限とは、現在の朝陽プールに大きな下水道管渠があるとのことで、こういった制限を受けるのか。

〈管理担当主幹〉現在、計画地の地中に大きな下水道管が埋設されている状況で、そこに大きな建物を建てるのは難しくなるということで“土地の利活用が少ない”としている。テニスコートであればその点は問題なく、活用に適していると考ええる。

〈岸副市長〉平日でも土・日でも、昼間に来られる方は一定数いる、という理解でよいか。夏場はかなり暑くなるため、将来的な利用を見込んで、ドーム型にすることも念頭に置いて設計の検討をすれば、利用者の利便性は高まると思うが、その点は検討できるのか。

〈財務部長〉屋内施設については社会体育施設再編プロジェクトチームの中でも話は出ている。市内には現在、民間の屋内テニスコートが2か所ある。公共が新たに屋内施設を整備すると維持管理費が高くなる上、利用料金もあまり高くできないので民間事業を圧迫するのではないかという懸念が出ている。この点も踏まえて、可能な限り民間に委ねられる部分は民間に任せ、公共としては安価に提供できる屋外施設として用途や提供形態を分けていこうという議論になった。

〈生涯学習部長〉もう一つは、屋内施設にして屋根が付くと、公共施設マネジメントの観点から床面積

が増加するという問題が出てくるところである。将来的に需要が高まり、公共での整備が必要となる可能性が出てきた場合は、その時点で改めて検討していく。

〈教 育 長〉テニス人口の動向について、特に 10 代の利用者が大幅に減少しており、全体としても減少傾向にあると聞いているが、スポーツ振興課では現状をどのように捉えているのか。

〈スポーツ振興課長〉全国的にも減少傾向で、本市においても例外なく減っているという現状を認識している。

〈生涯学習部長〉公益財団法人日本テニス協会が公表している「テニス環境等実態調査報告書」においても、将来を見据えた分析の中でテニス人口の減少傾向が示されている。

〈藤浪副市長〉駐車場はどのくらい確保できそうか。

〈スポーツ振興課長〉プロジェクトチームの中でも検討し、20～30 台程度としている。台数としては十分と考えている。

〈総合政策部長〉原案のとおり、政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、原案のとおり政策決定会議に付議する。

令和8年6月 12 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 生涯学習部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田市立社会体育施設再編第2期実施計画 -テニスコート編- の策定について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔 に記載すること。)	本市のテニスコートは、市民の健康増進や交流の場として重要な役割を果たしてきたが、その多くは昭和 40 年代から 50 年代に整備され、老朽化や劣化が進行している状況にある。また、人口減少やスポーツニーズの変化、厳しい財政状況を踏まえ、施設の効率的な運営と再編整備が喫緊の課題となっている。 教育委員会では、令和 3(2021)年 3 月に「岸和田市立社会体育施設再編基本方針」を策定し、種別ごとに再編対象や実施時期を示す個別計画を策定することとしている。 本計画は、再編基本方針に記している「個別施設ごとの再編計画」として、テニスコートの再編の対象施設、集約方法及び実施時期等を示すため策定するもの。
説明者 (部長は説明者に含まない。)	スポーツ振興課長 仲村 英二
	スポーツ振興課 管理担当主幹 吉川 充啓
	スポーツ振興課 主査 水谷 勇人
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	令和8年度 第2回会議
付議事項	岸和田市立社会体育施設再編第2期実施計画「テニスコート編」の策定について

★取組の目的

対象	牛ノ口公園運動広場テニスコート、野田公園テニスコート、春木台場テニスコート
どのような状態を目指す	①上記3テニスコート(5面)を廃止し、新たに朝陽プール跡地に(仮称)朝陽テニスコート(3面)を新設する。 ②機能拡充として、(仮称)朝陽プールには夜間照明を整備し、開館時間も拡充し7時から21時までの利用を可能とする。

★総合計画上の位置付け

1050202	基本目標	岸和田の次世代を育むまち
↑ここにコードを入力 (コードは「将来ビジョン・岸和田(体系)」シートを参照)	個別目標	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている
	個別目標の方向性	② スポーツへの親しみ向上や参画を進めるとともに、スポーツで活躍できる環境づくりを進める
	行政の役割	安全にスポーツができる環境(場)を整える

★現状と課題

テニスコート(公園緑地課所管を含む)は昭和40年代から平成初期に整備され、令和8年(2026)時点で、30年～60年が経過しています。令和8(2025)年時点で、築50年以上が2か所、築40～49年が3か所、築30～39年が1か所となっている。
また、施設の劣化、利用者数の減少、平日の低い稼働率という課題を抱えている。
一方で、休日・夜間の高い利用ニーズ、テニスへの高い関心がある。これらを両立させ、将来にわたって、市民の健康と体力の増進を図り、文化的生活向上の用に供することのできる環境を確保するため、テニスコートの総量を削減することで将来世代の負担を軽減しつつ、夜間照明の機能拡充が可能な場所で新たなテニスコートを整備する。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)			予算額	見込額			
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
朝陽テニスコート整備実施設計						未定			
朝陽プール解体工事						未定			
朝陽テニスコート整備							未定	未定	
牛ノ口、野田、春木台場テニスコート解体工事									未定
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源								
	その他								
事業費		計			R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
		0			0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性					R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
有	無					1	1	1	1

★取組の効果を表す指標

	指標名	単位	目標値							
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
①	市民意識調査(スポーツへの親しみや参画の向上と、スポーツができる環境づくり)				13.5%					27%

※事業費及び人員を確約するものではない。